

子ども模擬議会を開催しました



今年で28回目となる「子ども模擬議会」が7月31日に市議会議場で開催されました。市内16校の小学校・義務教育学校から2人の子ども議長、14人の子ども議員が参加しました。次世代を担う子どもたちが、ふるさと「土浦」をより良いまちにするために考えた提案と、それに対する市の答弁の概要を紹介します。

問広報広聴課(☎内線2399)





自転車のまち土浦



「つくば霞ヶ浦りんりんロード」が私たちの土浦市からつながっていると知って「楽しそうだな」ととてもわくわくしました。「自転車のまち土浦」をもっと広く知ってもらうため、CMを作りたいです。

安藤市長 「自転車のまち土浦」の魅力をもっと広めたいと考えてくれて大変嬉しく思います。CM制作の提案も参考にし、今後も積極的にプロモーションに取り組んでいきます。

つちまるくんの力で、地域おこしに貢献したい



自分が暮らす大好きな土浦市の地域おこしに貢献したいです。そのために、つちまるくんの力を借りようと考えました。お土産やふるさと納税の返礼品とつちまるくんのコラボで、土浦市の魅力を発信することを提案します。

山口市長公室長 「つちまる」を活用したグッズや返礼品の拡充、イベント出演を進めています。新商品やコラボ企画を発信し、市の魅力を広く伝えていきます。

土浦市の観光地を増やしてほしい



私は税金について学び、土浦市では税金がどんなことに使われているか知りたいと思いました。市の魅力度アップのため、新しい観光地を作るために税金を使えば、観光客が増え、市民の生活も豊かになると思います。

羽成産業経済部長 土浦市の税金は福祉や教育、インフラ整備などに使われています。観光にも力を入れ、サイクリングや花火大会など市の魅力をPRし、発展につなげていきます。

学校のプールをきれいに



学校のプールは汚れやすく、暑すぎて外で泳げないことがあるので、屋内温水プールにすることを提案します。費用が厳しいなら、市内の屋内温水プールへ行って水泳学習すれば、天気や気温を気にせず学べると思います。

加藤教育部長 一部の学校では民間プールなどを利用していますが、学校プールは、事前点検や暑さ対策を行ったうえで使用していますので、安心して授業を受けてください。

空き家、古い建物について



私の家の近くには古い空き家がたくさんありますが、壊してしまうのはもったいないと思います。そこで、空き家を買ってリノベーションし、古い見た目を活かしたカフェや宿などに利用してもらうことを提案します。

皆藤市民生活部長 古い空き家の中には、今の建物にはない魅力を持ったものもあります。空き家バンク制度や民間会社との協力をしながら、空き家対策に取り組んでいきます。

道路の整備と交通安全教室の開催について



荒川沖地区は歩道がせまいので、杖をついたお年寄りや車椅子の人が通りづらいのではないかと気になります。歩道や自転車専用レーンを整備したり、地域ごとに交通安全教室を開くことを提案します。

渡辺建設部長 交通事故から身を守るため、交通安全教室を継続し、自転車専用レーンや歩道についても、地域の方々が安全に、安心して歩けるまちづくりを進めていきます。



災害対策について



台風の被害が増えているので、地域で台風を想定した避難訓練を行うことを提案します。学校では竜巻、地域では地震の避難訓練をしていますが、台風の避難訓練も加えると災害への意識がもっと高まると思います。

塚本総務部長 市内の台風や大雨による災害の危険性が高い地域では、これらの避難訓練を実施しています。安全に避難できるよう、いろいろな訓練を重ねていきます。



魅力ある霞ヶ浦について



霞ヶ浦は大きい湖で美しい自然がありますが、水質がよくありません。ごみ拾いや水質をきれいにする活動を進めながら、水上アクティビティなど楽しい施設を造ることで、魅力ある霞ヶ浦になると思います。

小林副市長 市民の皆さんのご協力のもと清掃活動を行っており、水上アクティビティについてはラクスマリーナで楽しむことができますので、ぜひ足を運んでみてください。

児童館の増設について



遊ぶ場所が少なくて困ることが多いので、児童館を増設することを提案します。学区ごとにあれば、安心して遊べます。資金はクラウドファンディングや教育資金を使う方法もあり、子供の居場所づくりにつながります。

真家こども未来部長 現在3つの児童館があり、新設には多額の費用がかかるため、放課後子供教室や既存施設を活用した取り組みを通じ、安全な居場所づくりを進めていきます。

学校に遊具を設置してほしい



右糸小学校の遊具が減り、ブランコなどに人が集まりすぎて遊びにくくなっています。新しい遊具を設置してほしいです。アンケートでは滑り台が人気でした。新しい遊具があれば、みんな外で楽しく遊べると思います。

加藤教育部長 遊具を通じて体力や協調性を育めるよう、計画的に新設しています。右糸小には今年滑り台を設置します。芝生グラウンドと一緒に楽しく安全に遊んでください。

小学生向けの救助や応急手当て教室について



もし人が倒れていたら助けられるか不安でしたが、授業で心肺蘇生法を学んだことで、前より不安がなくなりました。その経験から、市内の小学校でも毎年救急救助や応急手当てを学ぶ教室を開くことを提案します。

堀本消防長 昨年度、11の小学校で応急手当教室を行いました。先生と協力して継続していきたいです。「人の命を助けたい」という気持ちを、これからも大切にしてください。

施設の再利用について



地域に愛された菅谷小学校が閉校した後も、地域の人たちや自然を活かした施設として再利用することを提案します。例えば、研修施設や遊び場、外国の人とも交流できる場所にして、地域を元気にしたいです。

山口市長公室長 菅谷小学校は、学校としてだけでなく、避難所やスポーツ利用など地域で活用されています。市民の意見を参考に、跡地の最適な活用方法を検討していきます。

信号機を見やすく、新しいものにしてほしい



学校の近くの丁字路では、信号のタイミングや見えにくさで危ないことがあります。特に通学路では安全に利用できるよう、市内でアンケートをして整備が必要な信号機をより見やすく新しいものにしてほしいです。

皆藤市民生活部長 市内に約2900基ある信号機を、見間違いが防止できる新しいLED式へ整備中です。警察と連携し、交通事故のない安全で安心できるまちづくりを進めていきます。

図書館について



都和南小地区には図書館がなく、子どもだけで学区外に行けないため、自由研究などの調べ学習がしにくいです。いつでもだれでも気軽に集まれる児童館、公民館、遊具のある公園も含め、図書館の増設を提案します。

入野教育長 増設は難しいですが、図書館や都和分館、電子図書館、博物館などを活用して、家族と一緒に体験や研究を行い、楽しく学んで新たな発見をしていただきたいと思います。



市長座談会

子ども模擬議会の開催後に、市長と子どもたちが直接対話をする座談会を行いました。模擬議会を通じて子どもたちが感じたことや思ったことを市長に直接伝えたほか、議長を務めた2人から子どもたちを代表して市長への質問がありました。



上大津東小
御園 羽音 議長

全国の花火師さんたちの技を競い合う熱気が伝わる土浦全国花火競技大会が大好きです。そのほかキララまつりやカレーフェスティバルなどイベントが多く大変そうな土浦市の市長になろうと思った理由はなんですか。



東小
佐藤 旬一郎 議長

給食が無償化になって親はとても喜んでいますが、僕は給食の量が減ることや、デザートが出なくなることが心配です。給食ではツェッペリンカレーが好きなので、おいしい給食をこれからも食べたいです。

安藤市長 昔の土浦は人であふれて元気でしたが、だんだんと人の流れが少なくなっていました。皆さんが大きくなったときに「ふるさは土浦です！」と誇りをもって言える、土浦を離れてもまた土浦に戻ってきたいと思えるまちにしたいと思い、市長になりました。

安藤市長 学校を訪問して、児童の皆さんと一緒に給食をいただいています。給食無償化でも、給食の量や内容は変わらないので安心してください。栄養士さんが土浦ならではの食材を使ったメニューを考えてくれているので、残さず食べてくれると嬉しいです。



子どもたちの感想

「緊張しましたが、市長さんに会えてよかったです。」
「議会の仕組み、実際の雰囲気に触れられて、貴重な経験になりました。」
「土浦市のいいところを知るよい経験ができました。」
「市長や市の執行部の皆さんがいろいろと答えてくれて、よかったです。」
「模擬議会で発表した経験を学校生活でも活かしていきたいと思いました。」



▲市長からつちまるグッズのプレゼント